

令和 8 年度第 1 回太宰府市介護保険運営協議会 議事録

日時：令和 8 年 6 月 25 日（木）18：30～19：41

場所：市役所 3 階 庁議室

【出席】

（委 員）渡邊委員・則松委員・秋吉委員・江口委員・川谷委員・島崎委員・鹿子生委員
（事務局）大谷部長・柳谷課長・今村課長

垣内係長・南利係長・糸山係長・中山

（計画策定支援事業者）株式会社くまもと健康支援研究所 開田氏

【欠席】

（委 員）芳賀委員、岩男委員

（事務局）鍋島係長

【傍聴人】なし

議題 1 令和 7 年度決算（見込）報告及び令和 8 年度予算について

介護保険事業及び地域支援事業について、令和 7 年度決算（見込）及び令和 8 年度予算の報告をしました。また、決算は 9 月議会で議決されるため、現時点では見込みである旨を説明し、承諾を得ました。

議題 2 太宰府市高齢者支援計画（高齢者福祉計画・第 9 期介護保険事業計画）の令和 7 年度報告及び令和 8 年度予定について

高齢者支援計画（高齢者福祉計画・第 9 期介護保険事業計画）の令和 7 年度における取組結果及び令和 8 年度の予定について、報告しました。

【質問】太宰府市の「認定率」は他市に比して高いように見受けられますが、その要因と今後の見込みについてお尋ねします。併せて、国・県の認定率についてもご教示ください。

【回答】本市の認定率が他市と比して高いのは、高齢独居世帯の割合や後期高齢者の割合が筑紫地区 5 市の中で高いことが要因として推測されます。今後の本市の認定率の見込みについては、認定者数の増加に伴い、令和 17 年度まで上昇を続け、それ以降は緩やかに減少していくような推計となっております。また、令和 7 年度の認定率は、国平均が 20.1%、県平均が 20.0%となっております。

【意見】「中核機関」を軸に相談体制を整備するとの記述がありますが、まずは「中核機関」の周知や成年後見制度の広報・普及啓発を更に進める必要があるのではないのでしょうか。ケアマネージャー、民生委員、障がい者基幹相談支援センター、医療機関等の支援者への周知もまだまだ不足しているように感じます。

【回答】成年後見制度の内容を理解している人が少ない現状があり、中核機関の周知や成年後見制度の広報・普及啓発は必要と考えています。令和7年度は広報1月号に成年後見制度の説明や相談先を掲載しました。また、長寿クラブ連合会の高齢者相互支援委員の研修会で、司法書士の方に終活をテーマに講演していただき、人生の最後を迎える準備の一つとして、任意後見制度の話をしていただきました。令和8年度も引き続き広報・普及啓発活動に努めます。

【意見】資料 3-1 の1ページ、近隣市との比較表の一番下の部分は「認定者数」でなくて「認定率」の誤りかと思います。

【質問】高齢者家事支援サービス事業の更なる利用拡大のため、新たに NPO 法人と委託契約を締結したということですが、事業所が新たに増えた場合には、ケアマネージャーにも情報がいくようになっていくのでしょうか。

【回答】高齢者家事支援サービスは総合事業の対象者や要支援の方向けのサービスとなりますので、新たな委託先については直接太宰府市地域包括支援センターのケアマネージャーに周知しています。

【質問】訪問介護事業所が閉鎖となった話を聞きますが、今後も訪問介護事業所は減っていく見通しなのでしょうか。

【回答】ここ数年で訪問介護事業所の閉鎖はありましたが、訪問介護サービスは需要があって給付も伸びているため、ケアマネージャーの方が何とかやりくりしながら対応してくださっている状況と思っています。

【意見】介護保険制度を社会みんなで支えようというような考え方を、若い方々に向けて啓発していくことが重要かと思います。また、令和5年度から令和6年度にかけての急激な給付費の伸びについても、原因をしっかりと分析しておく必要があるのではないのでしょうか。

【意見】 認定率の伸びについては、地域包括支援センターや生活支援コーディネーターの方が、地域住民の皆さんのニーズをしっかりと拾えていることの成果でもあるかと思えます。また、コロナ禍後に公民館・自治会等の活動が再開・活性化し、高齢者の社会参加や相談機会が増えたことで、認定につながりやすくなった可能性があります。市として、高齢者数の増加に応じて、取組の成果として示せる点と課題となる点を整理する必要があるのではないのでしょうか。認定の主たる疾患（筋骨格系、認知症等）の地区別データを整理できれば、地区特性に応じた施策（フレイルの取り組みなど介護予防の重点化、認知症支援の場づくり等）の優先順位が明確になるかと思えます。市全体の平均では課題が見えにくいため、必要な地区に資源を重点配分できるよう、地区別の分析データを整備して活用したほうがよいかと思えます。

【質問】 他市では事業所が認知症カフェを開催しているところもたくさんあるようです。太宰府市内で認知症カフェを定期的にされているところはあるのでしょうか。また、太宰府市でも介護サービス事業所が認知症カフェを開催できるものなのでしょうか。

【回答】 地域で開催されているサロンはありますが、認知症カフェとうたって開催しているところはありませんので、今年度定期的に開催していけるようなカフェの展開になげられるようチームオレンジで検討していきたいと思えます。また、認知症カフェの開催については、認知症サポーター養成講座とステップアップ講座を受講したオレンジのメンバーが関わりながら、認知症カフェを展開していただくようになります。認知症の方が参加をされるので、認知症地域支援推進員やいろんな方とのつながりがあるサロンであることが望ましいと考えています。

【意見】 認知症カフェはぜひ市として推進していただきたいと思えます。

【意見】 介護人材の就職フェアについて、せっかくのとびうめアリーナでの開催でしたが、広報が足りなかったのでしょうか。今年度もまた企画しているということなので、市の広報だけでなく、若年層、外国籍の方に向けた周知などにも力を入れていただいて、もう少し広げられるよう期待しています。

議題3 太宰府市高齢者支援計画（高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画・認知症施策推進計画）の体系及び骨子（案）について

第10期高齢者支援計画の体系及び第9期計画からの変更点について、株式会社くまもと健康支援研究所より報告しました。

議題4 その他

第10期高齢者支援計画策定のため、介護支援専門員、民生委員、生活支援コーディネーターなど多職種を交えたワークショップを開催したことについて、報告しました。

【意見】ワークショップの内容をまとめたものを配布してもらえたらと思います。

【閉会】